



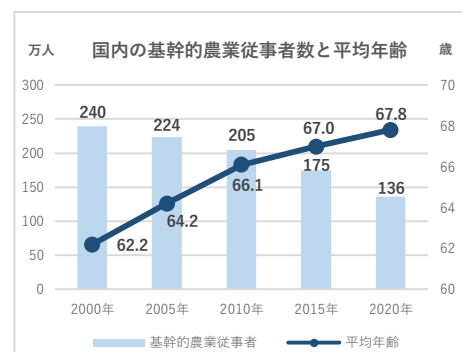
農業分野で初！スプレッドが「ノハム認証」を取得 2030 年の SDGs 達成に向けた取り組みを本格化

2021 年 1 月 22 日

株式会社スプレッド（本社：京都市下京区、代表取締役社長：稲田 信二、以下「スプレッド」）は、一般社団法人日本ノハム協会（関西本部：京都市中京区、代表理事：神田 尚子、以下「日本ノハム協会」）による、SDGs への取り組みを評価する「ノハム認証」を取得しました。農業分野でのノハム認証はスプレッドが初めてとなります。このたびの認証を契機に、社内でプロジェクトチームを発足させ、2030 年の SDGs 達成に向けて目標設定等の具体的な計画を検討していきます。

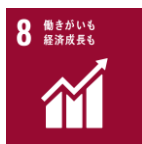
農業と食をとりまく課題とスプレッドの歩み

国内外の農業従事者の減少や高齢化、農薬の過剰利用による周辺環境への負荷が増加していることなどから、食料安全保障の確保が危惧されています。スプレッドは、このような農業と食の課題に取り組むため、2006 年に創業。以来、「未来の子どもたちが安心して暮らせる持続可能な社会の実現を目指す」というミッションのもと、大規模植物工場における栽培技術を確立し国内外の展開に向けて事業を推進してきました。2013 年に亀岡プラント（京都府亀岡市）が、大規模植物工場では困難と言われた黒字化を世界で初めて達成。2018 年に稼働を開始したテクノファームけいはんな（京都府木津川市）は、自動化や高度な環境制御技術を取り入れて生産性向上と環境負荷軽減を両立し、2 年で稼働率 99%に到達しました。このたびのノハム認証では、スプレッドの 10 余年に渡る事業が SDGs に貢献していると評価されました。



農林水産省「農業センサス」

認証を受けた項目



スプレッドは、自動化・DX化の推進による労働負荷の軽減や、農薬を使用しない栽培をはじめとした環境への配慮を推進してきました。これらの人と環境に寄りそう農業の取り組みがSDGsの7つの目標に貢献できているとしてノハム認証を取得しました。今後はSDGs達成に向けた目標設定等の具体的な計画を検討し、取り組みを開始していきます。

一般社団法人日本ノハム協会 代表理事 神田 尚子様 コメント

このたび、「植物工場『テクノファーム』事業を通じて、未来の子どもたちが安心して暮らせる持続可能な社会の実現を目指している」ことを確認し、株式会社スプレッド様にノハム認証を付与させていただきました。記念すべき、農業分野初の「ノハム」^(※1)となります。農業はSDGsの17のゴールの中に示されている、食料問題や生態系保全についてなど多くの地球規模の課題に関連するため、今回ご申請いただいたお取り組み内容を大変意義深く感じております。今後もスプレッド様が他パートナー企業様と連携し、サステナブル農業・サステナブル経営を実現されていけますことを心から楽しみにいたしております。



株式会社スプレッド 代表取締役社長 稲田 信二 コメント

私たちは2006年の創業以来、持続可能性を追求して事業活動を進めてきました。このたびのノハム認証を通してこれまでの取り組みを評価いただき、光栄に思っています。スプレッドはアグリテック分野の技術革新と、パートナーとの連携を通じて、世界が抱える気候変動や食料安全保障の課題に対してソリューションを提供し、SDGs達成への貢献とグローバルフードインフラの構築を目指します。



[スプレッドの取り組み例]

- ・ カーボンニュートラルの実現
- ・ フードロスの削減

ノハム認証について

SDGs（持続可能な開発目標）における<17のゴール>を目指す地球規模のミッション達成へ向けた認証制度。「ノハム」とはno harm（害が無いこと）から命名した言葉で、同時に誰も傷つけない（誰も取り残さない）という思いが込められている。

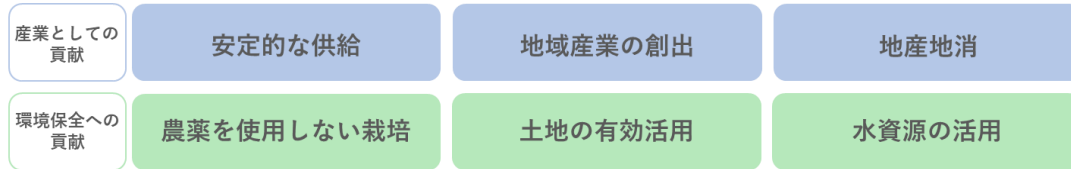


※1「ノハム」は日本ノハム協会の登録商標です。

【APPENDIX】

◆ 植物工場の社会的役割

気候に左右されることがなく、どこでも誰でも安定的に生産ができ、かつ環境への負担が少ない持続可能でレジリエントな農業として期待されています。



◆ 日産2万1千株 世界に先駆けて黒字化を達成 亀岡プラント

2007年より稼働。6年の試行錯誤を経て、栽培に最適な環境制御技術の確立や、効率的なオペレーション構築によって、97%を超える高稼働率を実現し、大規模植物工場では困難と言われた黒字化を達成。熟練したスタッフによる大規模栽培技術の実験・検証の場としての機能も持ち、スプレッドの精度の高い生産を支えています。



◆ 日産3万株 革新技術で栽培安定化を実現 テクノファームけいはんな

2018年より稼働。次世代型農業生産システム『Techno Farm™』を導入した初の工場。併設の研究開発施設での栽培技術や、IoT・AI技術も開発。マザー工場として新規技術の実証と開発を行い、未来に向けてさらなる進化を続けています。2020年には稼働率99%に到達。

【生産性向上と環境負荷軽減を両立した革新技術】

- ・栽培工程の約7割を自動化
- ・水のリサイクル技術で1日約16,000リットルを節水
- ・高度な環境制御技術
- ・植物工場専用LED照明による省電力化
- ・IoTを活用した栽培管理システムによる業務効率化



◆ 次世代型農業生産システム Techno Farm™

スプレッドが亀岡プラントで培った10余年のノウハウを基に、各分野のパートナーと共同で開発しました。自動化栽培、水のリサイクル技術、環境制御技術、植物工場専用LED照明、IoT・AI技術などを導入。未来の食料生産に必要不可欠な技術として持続可能な農業を推進していきます。 URL: www.technofarm.com



◆ 累計 7,000 万食超を販売 ^(※1) 植物工場野菜ブランド ベジタス

「パツとおいしく美しく」をコンセプトに、手軽に健康的で彩りのある食卓をお手伝いし、地球や人に優しいサステナブルな野菜を目指しています。ラインアップはフリルレタス、プリーツレタス、フリンジレタスの3種類。それぞれシャキシャキ、ふんわり、ふわシャキといった個性あふれる食感と、甘味と旨味が広がる味わいです。お子様も喜んで食べていただける緑黄色野菜 ^(※2) として支持されています。サラダはもちろん、サンドイッチ、さらにスープなどの加熱料理でも引き立つおいしさです。

URL : www.vege-tus.com



 ベジタス



※1 スプレッドで生産し販売したレタスの実績

※2 ベジタスは緑黄色野菜の基準（ β -カロテンの含量 600 μ g/100g 以上）をクリア

【本リリースに関する問い合わせ】

アースサイドグループ 広報部 岡井／安藤

E-mail : info@earthside.com

TEL : 050-3852-0561（直通） 075-316-6020（代表）

URL : www.spread.co.jp